

古井の川通信

思いやる子 考える子 がんばる子

学校便り



出部小学校
R8.1.13

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

冬休みの間、子どもたちは幸い大きな事故やけがもなく、楽しく過ごせたようです。ご家庭での、きめ細かなご指導に感謝いたします。

子どもたちはそれぞれの思いを胸に、学校生活を再スタートさせています。久しぶりに登校した朝、校門や昇降口で交わされる挨拶、友達との再会を喜ぶ笑顔からは、新年ならではの清々しさと前向きな気持ちを感じられました。

今年は午（うま）年です。馬は、古くから人とともに歩み、力を合わせて道を切り拓いてきた存在です。その姿から、午年は「前進」「挑戦」「継続」といった意味をもつ年とされています。また、馬は周囲の様子を感じ取りながら走ることから、仲間を意識し、協力し合うことの大切さも象徴しています。一気に駆け抜ける速さだけでなく、自分のペースを保ちながら前へ進み続ける姿は、子どもたちの学びや成長にも通じるものがあります。

出部小学校では、日々の学校生活の中で、子どもたちのこうした姿が多く見られます。朝の登校時に自然と交わされる挨拶、学年を越えて声を掛け合う様子、学習や行事の中で意見を出し合いながら取り組む姿など、学校全体に人とのつながりが感じられます。地域行事や校外での活動の中でも子どもたちが地域の方々に進んで挨拶をする姿は、出部小学校の大切な姿の一つです。

出部小学校では、「あいさつ・ふわふわ言葉・歌声があふれる学校」を目指し、日々の積み重ねを大切にしています。笑顔で過ごせること、相手に気持ちのよい挨拶ができること、そして相手の立場を考えて行動することは、学習や行事の成果と同じくらい大切な力です。そうした一つ一つの行動の積み重ねが、安心して過ごせる学校の雰囲気をつくり、子どもたちの成長を支えています。

新しい年の始まりは、自分自身を振り返り、新たな目標をもつよい機会でもあります。午年にあたり、子どもたち一人ひとりが、自分なりの一歩を大切にしながら、前向きに挑戦を重ねていってほしいと願っています。教職員一同、子どもたちの思いや努力に寄り添いながら、互いを認め合い、笑顔あふれる学校づくりを目指してまいります。

本年も、保護者・地域の皆様のご理解とご協力を賜りながら、出部小学校の教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

山陽新聞社の出前授業を受けました

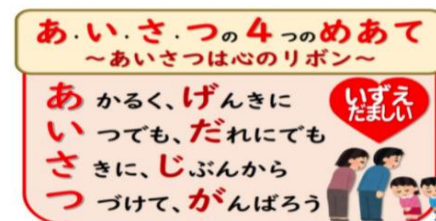
12月11日（木）、5年生を対象に山陽新聞社の方による出前授業が開催されました。1人1部ずつ新聞を配付していただき、新聞の構成等について詳しく学ぶことができました。取材や原稿作成の大変さ、仕事のやりがい等を学び、貴重な体験となりました。



あいさつは心のリボン

出部小学校では今年度、特に挨拶の取組に力を入れています。挨拶を通して地域の方々や「心と心でつながる」ことができるように願っています。地域の方から「以前より自分から進んで挨拶をしてくれる児童が増えた。」という嬉しい言葉も届いています。校内だけでなく、地域でも挨拶をがんばっている児童を教えていただけると、励みになります。

令和7年度も残り3か月となりましたが、これからも、よろしくお願いいたします。



修学旅行

12月4日（木）・5日（金）の2日間の日程で、兵庫・奈良・京都方面に修学旅行に行きました。天候に恵まれ、元気に参加することができました。

キッザニア、東大寺、清水寺、金閣寺、太秦映画村…。6年生のみんなにとっては、心に残る思い出がたくさんできました。

